

新たな制服導入に係る制服デザイン選定委員会(第5回)

【議事録】

令和6年3月18日(月) 18:30~19:45

壬生町立壬生中学校 図書室

1 ごあいさつ(学校長)

- ・いよいよ最終回。これまでオール壬生中体制で話し合ってきた。
- ・いろいろなご意見をいただきながら、話し合っ調整しながらここまで進んできた。
- ・在校生の思いや将来の壬生中生の希望を受け止めて、最後の話し合いをお願いします。

2 協 議

(1) ネクタイ・リボンの決定について

【案1】 ストライプが1本のデザイン

【案2】 ストライプが複数本でイチゴの織柄があるデザイン

- ・近隣校との差別化を図る必要あり
- ・壬生らしさが伝承できるデザインの方がよい。
- ・えんじ色は現行セーラー服のスカーフ色を受け継ぐ意図あり。

☞ 挙手による採決により案2の右記デザインとする。



(2) エンブレムデザインの決定について

- ・第4回委員会での採決のとおり右記デザインとする。
- ・デザイン考案者およびその保護者より「デザイン画使用に関する確認書」により承諾を得た。



(3) ジャケットボタンの決定について

- ・第4回委員会での採決のとおりエポキシ樹脂製とする。
- ・オリジナル校章入りのデザインとする。
- ・耐久性、価格面を考慮する。

(4) ポロシャツの導入について

- ・論点整理(別紙参照) ☞ 委員「了」

(5) セーター・ベストについて

- ・論点整理(別紙参照) ☞ 委員「了」

(6) 新たな制服のお披露目会について

- ・日時 令和6年6月12日(水) 午後
- ・対象 生徒・小中学校の保護者・地域住民 等
- ・主催 制服デザイン選定委員会、生徒会、学校運営協議会(予定)

- ・ 6月12日（水）以降に、各小学校に展覧できるとよい。（授業参観等の集会時に併せて）
- ・ お披露目会の様子を小学生も見られるよう、YOUTUBE で限定配信できるとよい。
- ・ 周知リーフレットは、AKASHI SUCにて作成予定。

(7) 覚え書き（案）について ☞ 委員「了」

- ・ 旧制服が破損した場合、社会福祉協議会の制服リサイクル事業を活用できる旨を周知することを追記する。
- ・ 成長に伴うサイズアップは、AKASHI SUC で貸し出し可能であることを追記する。
- ・ 天災等に伴う緊急貸し出しは、AKASHI SUC で寄贈可能であることを追記する。

(8) 価格帯について（AKASHI S.U.C 臼井様より）

- ・ 現行制服の価格帯から大幅に値上がりすることはないようにする。
- ・ 現行制服の価格帯からかけ離れた提案にならないように調整する。

(9) 質疑応答

なし

3 ごあいさつ（学校長）

- ・ 長い期間、熱心に話し合いをいただき、誠にありがとうございました。
- ・ これまでにお力添えに深く感謝申し上げます。

ポロシャツに導入に係る論点整理

○第4回委員会にて、6月から9月の猛暑期に、ポロシャツを着用することを合意する。

○第4回委員会にて、ポロシャツ導入に係る諸課題として、下記の事項を共有する。

- ・【課題1】 指定品扱いとするか、推奨品扱い（安価な類似品を可）とするか。
- ・【課題2】 色（熱中症対策、下着が透ける課題、速乾性等を併せて検討）
- ・【課題3】 特別活動（儀式的行事や遠足宿泊的行事）でドレスコードを合わせるか。
- ・【課題4】 価格帯
- ・【課題5】 登校時の着用
- ・【課題6】 着替える時間と場所の確保

【課題1について】

○関東近県や栃木県内において最近ポロシャツを導入した学校の様子をリサーチした結果、下記のことが判明した。

- ・ 推奨品扱い（安価な類似品を可）とした場合、廉価品を購入・着用したことにより、次の指導困難な状況が発生している。

☞ 色合いが違ったり半袖から下着や体育着がはみ出してしまったりする状況。

☞ 周囲の生徒と、シルエットの形状が違うことを気にする生徒が生じている状況。

○上記の結果、学校運営に支障が出ているため、推奨品扱い（安価な類似品を可）とした複数の学校は、結局、次の年度から指定品扱いに改めた。そうした先進導入校の状況等を勘案し、「指定品扱い」とする。

☞ 裾や袖から下着等がはみ出さない形状になるよう、メーカーへ協力依頼。

【課題2について】

○県外中学校や栃木県内の中・高等学校をリサーチした結果、下記のことが判明した。

・「白・紺どちらでも可」とした学校では、汚れが目立ったり下着が透けたりすることから、白のポロシャツは敬遠されている。

○先進導入校の状況等を勘案し、機能性や耐久性に優れた「紺」とする。

【課題3について】

○6月から9月の猛暑期対策としてポロシャツを導入することから、クールヴィズとしてのポロシャツ着用を原則とする。

○ただし、現行の校則「あゆみ」では、「衣替えは6月1日、10月1日を基準とします。ただし、前後1ヶ月間（5月1日～6月30日、9月1日～10月31日）は移行期間とし、気温や天候・体調等に応じて、各自の判断により選択しよう。」と定めているので、ポロシャツを着用するかYシャツ・ブラウスを着用するかは各自の判断とする。

【課題4について】

○メーカーに照会したところ、機能性や耐久性等に優れたポロシャツの価格帯は、おおよそ4,000円台後半～5,000円台であることが判明した。

○機能性や耐久性等に優れた製品は、3,000円台での購入は厳しく、安価な価格になると機能性や耐久性を保証できないことがわかった。

○AKASHI S.U.Cにおいて、機能性や耐久性等と価格面を十分に考慮したポロシャツを開発し、4,000円前後の価格で購入できるよう調整してもらうこととする。

○価格面を考慮し、紺無地一択のボタンダウン型とする。

【課題5について】

○旧制服を着用する生徒は、猛暑期対策として「白体育着・ハーフパンツ」を準制服として登校時の着用を可としている。

○新制服を着用する生徒は、新制服導入の理念や経緯に基づき、ポロシャツでの登校を原則とする。ただし、気温や天候・体調等に応じて、各自の判断により選択できるものとする。

【課題6について】

○栃木県内の多くの中学校では、更衣室が設置されておらず、生徒の多くYシャツ・ブラウスやポロシャツの下に白体育着を重ね着している状況である。

○栃木県外の多くの中学校では、Yシャツ・ブラウスやポロシャツの下に白体育着を重ね着する文化・風土はなく、着替えで対応している。（都内制服メーカー担当者）

○猛暑期対策としてポロシャツを導入する経緯を重視し、ポロシャツの下には白体育着は原則重ね着しないこととする。

○着替える時間や場所を考慮して、教育課程を編成することとする。

☞着替える時間は、休み時間および授業時間内に含んで教育課程を編成する。

☞着替える場所は、第2体育館や武道場など、外部との遮断性の高い空間を確保する。

セーター又はニットベスト導入に係る論点整理

○関東近県や栃木県内においてセーター等の防寒具を導入した学校の様子をリサーチした結果、下記のこと判明した。

・推奨品扱い（安価な類似品を可）とした場合、廉価品を購入・着用したことにより、次の指導困難な状況が発生している。

☞ジャケットからはみ出してしまう状況。

☞周囲の生徒と、シルエットの形状が違うことを気にする生徒が生じている状況。

○上記の結果、学校運営に支障が出ているため、推奨品扱い（安価な類似品を可）とした複数の学校は、結局、次の年度から指定品扱いに改めた。そうした先進導入校の状況等を勘案し、「指定品扱い」とする。

○メーカー指定の紺黒セーター又はニットベストとする。（カーディガンは、ジャケットからはみ出してしまうため不可とする。

☞ 委員：選択の利便性上、「色は一択」の方がよいのではないか。

☞ 採決により「紺色の一択」とする。

○価格帯は、十分考慮することとする。



